



2012. 7. 22  
No.46



結  
yui



も多く会の存在を知らせたい、会の皆さんと共に楽しみたい、という思いで企画された本広場は、スタッフ、出演者の方々のご協力を得て賑やかな会となりました。「歌大好き初心者コーラス」の皆さんの「つぶてソング」（福島詩人・和合亮一さんがツイッター上で東日本大震災の後書かれた「詩の礫（つぶて）」をテキスト



として新実徳英さんが作曲された歌集）より「フルサト」、アカペラコーラス「アニメロン」は「ルパン三世メドレー」「Hey 和」で素晴らしいハーモニーを聴かせてくれました。会の代表でもある堀部一寿さんの独唱では9条が危機に瀕していることを歌った「我が窮状」「インシャラー」などの迫力ある歌声が広場に響きました。



後半の「みんなで歌おう」ではリクエストに応じて懐かしい歌、平和の歌を参加者と合唱しました。準備に楽しく取り組めたという司会の池長さんは「♪どこまでも行こうよ～ほらみんなで手をとって さあ飛んでけ ぼくのひこうき～♪私の大好きな歌を、青空の下大声で歌えたのがとても楽しかったです」、堀部代表は「1週間経った今でも日焼け痕が真っ赤に残り名誉の負傷で（笑）」とのこと。パンや飲み物、手作りお菓子、ジャムなどの販売もあり、多くの市民が足を止めて下さいました。ご協力、ご参加頂いた皆さま、ありがとうございました。次回の「うたごえ」をお楽しみに♪（事務局）

## —現在の憲法「改正」動向とハシズムの危険な「国家リセット」

## 小森陽一さん講演会 構想—

7月8日(日)、茨城大学で小森陽一講演会があり、参加しました。その報告です。講演会は憲法を守り生かす茨城ネットワーク、九条の会水戸、水戸西九条の会が合同で開催したもので、全体でほぼ300人が参加、中でも茨城大学の学生さんの参加が目立ちました。

講演は「総選挙を想定した改憲キャンペーンの実態」の分析から始まりました。まず、野田政権が大飯原発再稼働というどさくさにまぎれ、日本の国家戦略に関わる2つの重大な決定をしたことに触れました。1つは原子力基本法の基本方針に「安全保障に資する」条項を加え、非核3原則を否定したこと、もう1つは集団的自衛権の行使を認め、憲法9条を変える方向を示したことです。

小森さんは、今回の野田政権の決定に際し、日米政府が「2プラス2」会議を開いていたこと、そして、2005年10月、当時政権党であった自民党が新憲法草案を発表した時も日米政府の「2プラス2」会議

が開かれていたと指摘、野田政権が日米安保体制の中で対米依存を強めている現状があり、原発再稼働になりふり構わず突き進むのも、対米依存体制の強化を何より重視していることを明らかにしました。



次いで、橋下「維新の会」の政治的扇動を5つの手口から分析、小泉政権と酷似した政治手法のありようを示しました。その後、安部政権が憲法9条の改悪を公言して登場したことから「九条の会」が全国に一気に広がり、安部政権退陣に繋がったことに触れ、こうした日米安保体制と原発体制を2本柱とした戦後政治体制を変えるには、これらを容認してきた世論を変える必要があり、そのためには、さまざまな主張や要求を持った勢力が、多方面から、憲法を守り生かす活動に参加し、政権を問い詰めていくことが大事だ、と結論付けました。（長田）

## JAXA（宇宙航空研究開発機構）法改悪の問題点

つくばの住宅地に隣接していて、子ども達の見学コースとしても人気がある「筑波宇宙センター」は「宇宙航空研究開発機構(JAXA)」に属す中心的な研究施設です。政府は今、この宇宙科学の分野で世界的にも評価されているJAXAの最新技術や研究者達を軍事動員さえも可能にする、JAXA法の改悪を企てています。

2003年10月、大学の共同利用機関「宇宙研究所」と国立研究所「航空宇宙研究所」、それに「宇宙開発事業団(NASDA)」が合併して「宇宙航空研究開発機構(JAXA)」が誕生しました。その時制定されたJAXA法の第4条には、宇宙科学に関する基礎、基盤研究等は「平和の目的に限り、総合的かつ計画的に行う」とはっきり明記されています。

JAXA法改悪の企ては、2008年に成立した「宇宙基本法」に添うかたちで進行しており、実際には内閣に設置された「宇宙開発戦略本部」の専門委員会で議論されました。構成委員は適当に選抜された大学の学長や民間企業経営者など14人でJAXA関係者は2人のみ、現場の科学者・技術者は選ばれていません。このような国民不在の密室状態でJAXA法を変更するのは、極めて異常で拙速であると言わざるを得ません。

もともと「宇宙基本法」は、当時の与党であった自公両党と経団連を中心に、「平和利用の原則」を廃し、軍事利用に道を開こうと画策され、民主党との3党合意で、衆参の実質審議時間がそれぞれ約2時間という超スピードで強引に成立されました。国民にとっては何も知らされることなく、経済界や国防族に属する政治家集団、それに迎合する御用学者達の意向に沿って、「宇宙を軍事・商業目的のために活用する道」が開かれることになりました。

JAXA法の改定は宇宙の軍事利用拡大の具体化であり、軍事目的が入り込めば機密保持の名の下で、研究の自由や思想・良心の自由が侵害されることは明らかです。JAXA法の平和規定をなぜ削除しようとするのか、ここには国民の意向を無視して、日米軍事と財界・産業界を重視する野田政権の姿勢がはっきりと見て取れます。昨年暮れ、内閣が正式に決定した「武器輸出三原則緩和」の強行もその表われと云えるでしょう。経団連の思惑と目先の経済効果しか考えられない思考の貧困さ、未来の世界を思い描くことができない想像力の無さと、洞察力の欠如は驚くばかりです。まさに、科学的な根拠も無く、拙速に原発再稼働を強行しようとしている姿と完全に一致しています。宇宙の軍事利用は即刻止めさせ、「宇宙基本法」を日本憲法と整合性のあるものに、「宇宙科学の研究」はあくまでも「自主・民主・公開」の原則を堅持して、研究の自由を守る運動も粘り強く続ける必要があるでしょう。

上原 満（研学9条の会世話人・憲法9条の会つくば賛同人）

追記：この記事は6月10日に脱稿したものです。JAXA法改定案は6月20日の参議院内閣委員会・本会議で賛成多数で可決、成立しました。ほとんど審議されないままの短期間での採決は到底納得できるものではありません。今後とも「秘密保全法」の制定など、宇宙軍拡を拡大しようとする動きに注視する必要があります。

当会では第1日曜日に定例署名行動、9日に西武前で9の日署名を行なっています。6月は3日アルス前、7月1日のうたごえ広場で定例署名を、6月8日、7月9日に9の日署名、6月24日にはつくば市母親大会、30日の「ナージャの村」上映会で署名を行ないました。

### 署名報告

▼6月8日「9の日署名」の報告から：8日、署名準備で9条の旗を立てていると、1人の外国人が自分の画板と署名用紙を数枚もって近づいて来て、一緒に署名をしたい、と言う。署名用紙は憲法9条の会つくばのもの。聞けば、知人が9条の会つくばのメンバーで、その人から用紙を貰ったという。本人はアメリカ国籍の方で、現在筑波大学外国語センターの准教授。日本の憲法9条を守ることが大事だと思っていて、日頃から何か活動をしたいと考えていたとのこと。一緒に署名活動をした。通行人に署名を呼び掛け、署名してくれないひとにもチラシを1枚渡し、その度に深々とおじぎをする。わが身を振り返ってみると、口では「ありがとうございました」と言っているが、署名をして下さった方にも、

### 「憲法9条の会つくば」の活動から



◆賛同人 2012年7月1日現在  
総数 874名（市内 631名）  
◆9条署名 7月1日現在 13,347筆

チラシを受けとって下さった方にも、90度になるおじぎをしたことはない。感謝の気持ちが、いつの間にか薄れてしまっているのではないかと、反省する。

今後とも是非ご一緒に、と声をお掛けした。そうします、と真剣な顔を見せる。賛同人になりませんか？と声をお掛けした。ぜひに、と嬉しそうな顔をした。ひとつ、新しいつながりができた。（長田）

### 大阪の橋下イズム学習会

5月27日世話人会で朝日新聞のデジタル無料情報や赤旗記事、女性のひろば（5月号）の資料を基に、ミニ学習を行った。2011年6月府議会で、橋下知事率いる「大阪維新の会」が提出し、公立校の教職員に君が代の起立斉唱を義務付ける全国初の条（次頁↗）

## ピラ配り



賛同人のつぶやき

戦争も原発事故も「起きてしまったらと

りかえしがつかない」という点で、共通している。戦争の場合は他国の動向や意図が絡んでくるから、原発問題ほど簡単ではないが、最低でも「我々としては領土の拡張を求めない」「外交問題の解決にあたっては武力による恫喝は一切しない」「核兵器のない世界と軍備縮小をめざす」「他国の侵略行為には加担しない」などの諸原則を貫徹するために、「憲法九条は瞳のように大切にしなければならない」と改めて実感する。昨日「9条の会つくば」の活動に参加して、久しぶり（35年ぶりぐらいか）に街頭でのピラ撒きの手伝いをした。ピラを渡そうとすると、半分ぐらいの人は受け取りを拒否するし、なかには「改憲賛成だ」と言い捨てて立ち去るおっさん達もいて興味深かった。「これが現実なのだなあ」と体ごと感じられて、貴重な体験をした。

原発事故はすでに起きてしまい、その深刻な影響が我々の日常生活に及んでいる。その意味では「とりかえしがつかない」事態が発生しているのに、それを利用して政策変更を迫るいかさま政治家、いかさま政党、いかさまメディア、いかさま言論人が事態をさらに深刻にしている。原発依存からの脱却は、他国の動向や意図とは関係なく我々自身の判断で実行できる課題だ。脱原発依存の方向性を堅持することは、おそらく憲法九条の維持と同程度に重要な意味を持っている。気恥ずかしさをかなぐり捨てて、憲法九条の維持と脱原発依存のことだけは、あらゆる機会をとらえて日常生活の中で触れ合うすべての人々にホジャ魂\*で語りかけようと思う。 K.K（牧園在住）

\*ホジャ：筆者のニックネーム。トルコの笑い話に出てくる人の名。

## 個人の友好の絆で国際平和を

私はかなり長い期間国際協力関係の仕事

に携わり、多くの国々に出かけましたが、何処の国でも好意的な対応を受け、不愉快な思いをした経験はありません。米国の研究集会に参加した時など、米国人の友人が大学や研究所などの訪問計画を立てて下さり、自宅にまでご案内して下さいました。以前、鬼畜米英として戦った相手の国の方とは到底考えられないことです。タイで現地の大衆が日本製品の不買や日本の首相の入国反対運動をしていた時でも、私はこの国で気持ちよく研究協力の仕事を続けることができましたし、家族ぐるみのお付き合いをし、心こもったあつかいを受けました。

このように国家間の関係が悪いときでも、個人と個人の間にはほとんどの場合、その影響を受けなかったというのが、私の体験から得た教訓です。個人対個人の間には良好なのに、何故、国家や集団の間では紛争が絶えないのでしょうか。同じ日本人同士の争いでは戊辰戦争の時、相手側の兵に婦女子が虐殺された事が知られていますが、これはただ住んでいた県の違い、つまり集団の違いが敵と味方に分かれた極めて悲惨な事例です。外国人にも日本人は好きだが、日本国は嫌いだという人がいます。

このように個人は好きだが、国や集団は嫌いという問題をどう調和させて仲良くできるかが重要な課題で、国家間の好悪の問題を互いの国の人々の友好の絆によって全地球規模で少しずつでも解決していくことが、この世界から戦争をなくす大きな一歩になるのではないのでしょうか。 A.K（つくば市瑞穂団地）

（続き→）例案が可決された。3月府立高校の卒業式で、教頭が全教員の口の動きを目視で確認し、府教委に報告。2012年3月大阪府議会で、5月大阪市議会で知事や市長の教育への関与を強める「教育行政基本条例案」が維新の会や公明の賛成多数で強行可決された。大阪市の全職員に組合や選挙活動への関与を問うアンケートを実施（2月）、思想信条・労働基本権を侵害、違法のおそれと府労働委も勧告、調査の凍結に追い込まれる。

橋下市長は「市政改革プラン」（素案）で女性共同参画センターの廃止や敬老パス、新婚家賃補助など市の行政サービスは贅沢三昧といって3年間で500億円削減・廃止を狙っている。橋下「維新の会」流の物言い、競争教育導入には目が離せない。（横井）

## アーサー・ビナードさん講演会

6月2日、つくば市大角豆のカフェ+ギャラリー「メモリーズ」にて、昼・夜2回の講演会が開催されまし

た。参加者は各回30名程、合計60

9条の賛同人の方、また賛同人が同伴された方は20名以上いらしたように思います。講演の内容は文学から政治まで多岐に渡りましたが、特に日米両国の核開発問題などではアメリカ国内での核開発支持の世論作りの様子などを「原爆飴」（Atomic fire ball）の実物を配りながらユーモアと皮肉たっぷりに話されました。会場は時折笑いに包まれながらも「核の平和利用」という言葉の真意を深く理解しました。また、日本政府が使用済み核燃料の再処理を断念しない理由は、プルトニウムを多量に保有することで潜在的核兵器保有国であり続けたいからだ、という指摘にも納得できたと思います。

会場では憲法9条の会つくばのチラシを配布し、賛同人が1人増えました。「メモリーズ」のオーナーの鳥山さんから、9条の会への感謝のこぼしを頂いております。（穂積）



—市民によるモニタリング報告会に参加して

## 霞ヶ浦を放射能から守ろう！



6月3日に、県立霞ヶ浦環境科学センターで行われた報告会に参加しました。会では、NPO法人アサザ基金が、霞ヶ浦に注ぐ56本の河川の泥のセシウムを市民の協力で測定した結果を報告し、原発事故で降った放射性物質が河川から徐々に霞ヶ浦に集まっている状況を報告しました（同基金：飯島博氏・安保満貴氏）。

測定を終えた26の河川のうち20河川で泥1kgあたり1000ベクレルを超え、高いところでは1万ベクレル近い河川もありました（つくば市内を流れる小野川は、牛久市付近で4600ベクレル/kgでした）。数年後には霞ヶ浦の汚染が深刻になることが予想され、手遅れになる前に緊急に対策をたてる必要性が強調されました。元茨城県内水面水産試験場の浜田篤信氏から、測定地点を増やすなど詳細な予測による除染計画を立てること、常陸利根川水門（逆水門）の柔軟な開閉によって湖内の放射能を減らすことなどが提案されました。

同基金は、市民・大学・研究機関などと共に調査を行い、霞ヶ浦を放射能汚染から守るための対策に着手することを訴えています。そのため、茨城県知事あての20万筆の署名を実施する予定。なお霞ヶ浦から取られている上水道水の汚染が気になったので、土浦市のHPを閲覧したところ、現在セシウムの濃度は10ベクレル/kg以下（厚労省の食品の基準値）になっていますが、去年の3月24日から5月9日まで検出され、とくに4月4日までは10ベクレル/kgを超えていました。

当日の報告会の様子と浜田氏の提案内容や、この問題でのアサザ基金の取り組みについては、インターネットで見ることができます。（三浦克洋）

アサザ基金 HP：<http://www.kasumigaura.net/asaza/>  
からネット署名と署名用紙のダウンロードできます。

## 取り返しのつかないものを、取り返すために

—大震災と井上ひさし

大江健三郎、内橋克人、なだいなだ、小森陽一 講演集  
岩波ブックレットNo.814

「9条の会」呼びかけ人である井上ひさしさんは、とても身近な存在であった。「ひょっこりひょうたん島」は毎日見ていたから♪泣くのはいやだ、笑っちゃおう♪と今でも歌えるし、小説・戯曲・文章読本等も読み漁った。ペンクラブ会長としてTVに映る井上さんを見て、こんな声でこんなふうに話す人なのかと思ったことも懐かしい。

昨年3月の東日本大震災以降、何かやらなくては、でも何をすればいいのかわからず、焦り迷っていた時にこの冊子を手にした。もし今、井上ひさしさんが生きていたら、生まれ育った土地の姿をどうとらえただろう。井上さんに縁のある方々が、彼の作品や発言を通して、惨禍の後をどう生きるか、私たちに問いかけています。

「やさしくおもしろく」語りかける井上ひさしさんの言葉から、私たちは現実を生きぬく力を受け取っていることを感じられる講演記録集です。（H記）

## 行動予定

7月30日(月)～31日(火) 平和とアートの旅

8月5日(日) 定例署名 12:00～ アルス前

6日(月) ヒロシマの日・平和の鐘一振り運動

9日(木) ナガサキの日・平和の鐘一振り運動

9の日署名 12:00～ 西武前

17日(金) 事務局会議 19:00～ 松代交流センター

後半(日程未定) 若者のための「戦争を語る会」

9月2日(日) 定例署名 12:00～ アルス前

9日(日) 9999活動+9の日署名

16日(日) 定例世話人会 10:00～松代交流センター

## 会からのお願い



賛同人拡大のお願い：当会では今年7周年を迎えるにあたり、賛同人数つくば市内700人を目標としています。皆さまの身近なご家族、知人の方々へ賛同を広げて頂くようお願い申し上げます。

## イベント

## ◇お話でんでん朗読会—またあの日がやってきました

日時：7月28日(土) 14:00～

場所：十里舎でこ～いホールひらたい

3.11ドキュメンタリー映画「わたしたちは忘れない」

参加費：500円

連絡先：NPO法人十里舎でんでん TEL0297-84-2596

## ◇朗読劇 ヒロシマ・ナガサキ 2012

日時：8月4日(土) 14:00(開場13:30)

場所：つくば市アルスホール(つくば市中央図書館2F)

主催：サラダの会朗読グループ 入場：無料

後援：つくば市教育委員会・土浦市教育委員会

問合せ：TEL029-887-3226(大曾根) TEL029-877-2275(浦里)

## ◇荊崎九条の会—原爆パネル展と原発を語る会

## ・原爆パネル展

日時：8月4日(土)～8日(水) 10:00～16:00

場所：つくば市ふれあいプラザ展示室(荊崎運動公園内)

入場無料

## ・憲法と原発を語る会

日時：8月5日(日) 開場13:00 13:30～16:00

場所：つくば市ふれあいプラザ2F会議室

ドキュメンタリーDVD「内部被ばくを生き抜く」鎌仲ひとみ監督作品上映 資料代：200円

連絡先：TEL029-876-1039(伊藤)

## ◇土浦8・15平和のつどい

映画「原爆の子」新藤兼人監督 上映

日時：8月15日(水) 13:30～上映開始 会費300円

場所：ワークヒル土浦(土浦木田余東台TEL029-826-2622)

連絡先：TEL029-831-6288(福田)

## ◇「つくば市民白書2012」が7月末、出版されます

市政の現状がわかりやすく市民目線で解説されています。職場研究者の平和活動や地域での憲法9条を守る運動がいきいきと表現されています。是非ご購読ください。A4版・240頁を越す大作です。価格：1,000円。

申込み：つくば市民白書実行委員会 TEL029-837-0771